

瑠璃



彼杵中学校
校長 川内康範

あいさつ運動実施中です！



- ・社会を明るくする運動推進委員の皆さんによるあいさつ運動
- ・PTAによるあいさつ運動
- ・生徒会によるあいさつ運動

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」は、たくさんの方々に「朝のあいさつ運動」にご協力いただきました。

彼杵中の子どもたちは、地域の皆さんに見守られていることを改めて感じます。子どもたちは、間違いない「そのぎ」という地域で健やかに育っています。

先日の地区懇談会でも話しましたが、i check (5月に実施した生徒質問紙)によると、

・近所の人に会ったときはあいさつをしていますか。
・お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。

に対する回答は、全国平均と比較して全学年プラスでした。家族みんなが地域の行事に参加し、あいさつを交わす関係であれば、子どもたちも自然と影響を受けるようになります。地域・家族の教育力とはこのようなものだと思います。

「ユマニチュード」って何ぞですか？

6月22日(金)東彼杵郡学校保健会総会が開催されました。金澤会長さんのあいさつの中で、「ユマニチュード」という言葉を私は初めて聞きました。インターネットで検索してみると、ユマニチュードは認知症の方と接する時のケアの方法で、実践すると円滑にコミュニケーションがとれるようになることから、魔法の認知症ケアと呼ばれているそうです。

「見る」「話しかける」「触れる」「立つ」の4つの基本柱を組み合わせて行うものですが、見せかけではなく、本質的な相手への気遣いが大切だと書かれています。「人と人がどう向き合うべきなのか。」このことは、大人対大人だけでなく、大人対子どももの時も同じだと感じます。社会に目を向けると、殺人事件や虐待などの悲惨なニュースが飛び込んできます。この「ユマニチュード」の精神を大切にしたいものです。

おりしも、本校の3年生が7月4・5日の2日間、異世代交流体験学習として、グループホームやデイ

サービス施設、障害者支援施設、保育園などを訪問しました。私もあいさつに伺ったのですが、職員の方々の接し方を見てみると、「ユマニチュード」という言葉が頭をよぎりました。皆さんが本当に相手の立場に立って、仕事をされているなあと感じました。3年生の2日間の体験はきつと貴重な体験になったはずです。あるグループホームの若い職員の方は、本校卒業生で、この異世代交流がきっかけとなり、現在の仕事につながっているとのことでした。素晴らしい出会いがあったのですね。



陸上大会に9名、卓球個人に1名、硬式テニスに1名が彼杵中から出場します。

【7月の予定】

8日(日) 親子ふれあいレク
(3年生)(2年生)
社会を明るくする運動大
村東彼弁論大会

3年生の渡邊美月さんが発表します。

11日(水) 50問テスト
15日(日) 1年親子ふれあいレク
20日(金) 終業式
28日(土)~30日(月)
県中総体(陸上・卓球・テニス)